

山 口 新 聞

平成 25 年 9 月 20 日 (金)

NO.72

農地・水・環境

守ろう地域の手に

⑦②

路の草刈り、環境整備など、農家、非農家を問わず地域全員で環境保全に取り組んでいる。

中でも水稲刈り取り後に毎年行う「うだ」という竹製漁具を用いる魚とりは、魚をとる楽しみと、魚を追いかけてため池の中を歩き回ることにより、底にたまった泥をため池外に排出させるという一石二鳥の保全作業。

下保木地区は、下関市南部に位置し、二級河川・木屋川に沿って東西に広がる平坦な農業地帯である。

農事組合法人「ほきの郷」の前身の同地区営農組合と自治会が中心となり、集落機能を守っていくために地域が一体となって効果の高

い共同活動を展開しようとして、2007年度に当会を設立した。

以降、排水路の清掃や道

な伝統的行事が多く残って

下保木地区環境保全会 (下関市)

良き伝統 未来につなぐ

今後も伝統を守りながら各種団体との連携はもとより、次代を担う子どもたちとも積極的にふれあい、思い出作りと地域環境の保全に取り組んでいきたい。

(会長、岡田寿夫)

|| 金曜日掲載 ||



① 会員の皆さんと子どもたち
② ため池で大きな魚をつかまえて喜ぶ子どもたち

【メモ】会長 || 岡田寿夫
▽ 会員 || 55人 農家 (36戸)、農事組合法人、水利組合、営農組合、自治会、子供会、土地改良区
▽ 設立 || 2007年5月6日
▽ 連絡先 || 下関市菊川町下保木841、岡田さん ☎ 0833・2807・1639